



横浜市立倉田小学校

幼保小連携推進地区事業推進校

令和4年 1月31日

学校だより

2月号

“つながり いきいき 倉田っ子”

学校ホームページ URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/kurata>



十人十色

副校長 佐藤 直子

毎朝、校庭や校舎の周りをぐるっと一回りするのが日課となっていますが、歩きながら季節の移り変わりを感じることができるので私の楽しいひと時となっています。今は、鉄棒の後ろに黄色い「ロウバイ」の花が咲いています。近くに寄ってみると花びらは透き通っていて、ほのかに梅のような香りがします。遊具の近くには「スイセン」の花も咲いています。先日はメジロが校庭の木にとまっていた。まだまだ寒い日が続きますが、暦の上ではもうすぐ立春。校庭の周りの木々も春の準備をしているようです。

先日、子どもたちの書いた書初め展が校舎に掲示されていました。新しい年になり、新年の抱負や目標を書いて気持ちを新たにしよう、一人ひとりが文字に真剣に向き合い、気持ちを込めて丁寧に書いている様子がどの学年の文字からもうかがえました。その中で、6年生は自分の好きな言葉をそれぞれが書いていました。「有言実行」「七転八起」「自己実現」「一生懸命」などなどたくさんの言葉の中に「十人十色」と書いている子が何人かいました。言葉のとおり、10人いれば10の色がある。それは、人はみんな違ってそれぞれの考えや特徴があるということ。人はそれぞれ様々な個性をもっていて、一人ひとりの個性を尊重するという意味でも使われる言葉です。その言葉を見つけた時に6年生の学年のスローガン「百花繚乱」とつながりました。こちらの言葉も、いろいろな種類の花が色とりどりに咲き乱れる様子としてすぐれた人物が一時期にたくさん現れることのとえとなっています。スローガンには「優しい」「たのもしい」「協力」など様々な一人ひとりが思い描く理想の6年生の姿が掲げてありました。4月から、6年生はそれぞれの個性を大切にしながら10か月を過ごしてきたのだと思います。実際、思うように活動ができない中でも日々の委員会活動や運動会などで一人ひとりが力を発揮して取り組む姿を下学年に見せてくれています。そしてこれから卒業に向けて、加えて自分の良さにも目を向けることで自分の色、個性を輝かせてほしいと願っています。さらに友達の良さを認め尊重しあいながら小学校生活のまとめの時期を過ごしてほしいと思います。今年度もあと2か月。1年生から5年生もそれぞれが学年のまとめの時期となります。残りの日々を子どもたちが自分の個性を大切に充実した学校生活を送ることができるよう、支援していきたいと思ひます。



まん延防止等重点措置が発出されております。今回は感染力が高く、今まで以上に気を配りながら対策をしていかなければならない状況となっております。ご家庭においては、先日配布させていただいた「本校の教育活動について」にありますように、ご家族の日々の健康観察を十分に行っていただきますよう重ねてお願いいたします。